

## 別紙7

## 9.0 保存及びアクセス管理計画

## 9.1 この記録物のための管理計画は存在するか？

## a) 韓国所蔵記録

番号	所蔵所	計画の有無	内容
1	ソウル大学校奎章閣	YES	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝鮮通信使の記録物が保管されている奎章閣韓国学研究院は地震、爆撃、漏水等の災害に備えて建物を施工しており、自体機械室を通じて24時間適正な温度と湿度を一定に維持している。</li> <li>・書庫の空気を清浄するための空調システムと火災に備える自動消化設備システム、調湿パネル等が完備されており、書庫内では資料の酸化防止のために退色防止用照明を使用している。それに、非常時の疎開計画も立てられている。</li> <li>・朝鮮通信使の記録物は古典的保存に適した木材書架に保管しており、定期的な害虫モニタリングを通じて防虫消毒及び書庫特別掃除を実施している。</li> <li>・古典的管理の専門人力を配置して保存環境をチェックし、定期的な資料点検と管理を行っている。</li> </ul>
2	国立中央図書館	YES	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立中央図書館所蔵の朝鮮通信使記録物は定期的な蔵書点検と燻蒸消毒実施、24時間書庫監視体制等で適正な保存環境を維持している。</li> <li>・国立中央図書館の古文献資料は専門研究人力(博士級)から構成された図書館研究所で管理しており、持続的に資料に関する研究の企画と関連研究集の発行を行っている。</li> </ul>
3	大韓民国国史編纂委員会	YES	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国史編纂委員会の保存書庫は記録物の保存管理のため恒温恒湿設備、消毒設備を整えており、自動火災探知及び消火設備を整え、完璧に災難に備えている。</li> <li>・資料の保存は劣化等資料の棄損予防を最優先にしており、日光に晒されたものの消毒処理→脱酸処理→復元処理→保存容器製作→書庫施設への入庫という保存処理システムの機能強化に注力している。</li> </ul>
4	高麗大学校図書館	YES	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝鮮通信使の記録物が保管されている高麗大学校図書館は、記録物の保存のため24時間適正な温度と湿度を一定に維持している。</li> <li>・書庫の空気清浄のため、空調システムと火災に備える自動消化設備システム、調湿パネル等を完備しており、書庫内には資料の酸化防止のため、退色防止用照明を使用している。それに、非常時の疎開計画も立てられている。</li> <li>・記録物への害虫被害を防止するため、定期的に消毒及び書庫特別掃除を実施している。</li> <li>・古典的管理の専門人力を配置して保存環境を確認し、定期的な資料点検と管理を行っている。</li> </ul>
5	忠清南道歴史文化研究院	YES	現在、記録物に関する価値を十分に認知しており、管理計画を策定中である。
6	国立中央博物館	YES	当該遺産は、紙類に適した環境(温度、湿度、照度、保安等)下で管理されており、また安全な保存のため休止期を設定する等の徹底した管理下にある。

7	釜山博物館	YES	現在、各記録物の状態により保存処理、表具及び裏打ち、常設展示及び特別展への貸与時、遺物の状態の点検、遺物の回復のため一定期間収蔵庫へ入庫することなど適切ながら周期的な保存管理をしている。
8	国立古宮博物館	YES	当該遺産は、紙類に適した環境(温度、湿度、照度、保安等)下で管理されており、また安全な保存のため休止期を設定する等の徹底した管理下にある。
9	国立海洋博物館	YES	当該遺産は、紙類に適した環境(温度、湿度、照度、保安等)下で管理されており、また安全な保存のため休止期を設定する等の徹底した管理下にある。

b) 日本所蔵記録

番号	所蔵／管理	計画の有無	内容
1	京都大学総合博物館	YES	朝鮮国書を所蔵する京都大学総合博物館は専門職員が配置され、収蔵庫は適正な温湿度で保存や防犯・防災対策などが講じられており、適切に資料が保存管理されている。また展示室についても、収蔵庫と同様の対策が講じられている。
2	東京国立博物館	YES	朝鮮国書を所蔵する東京国立国立博物館は日本を代表する博物館であり、国宝、重要文化財など数多くの文化財を所蔵し、調査研究、保存、展示公開、保存修復などの多岐にわたり専門職員を配置している。また、収蔵庫や展示室などの施設は、文化財の種別、状態などに応じた環境が保持されており、防犯・防災対策も万全である。そのため、最適な状態で資料が保管されている。
3	山口県立山口博物館	YES	正徳元年朝鮮通信使進物目録を所蔵する山口県立山口博物館収は学芸員が配置され、収蔵庫は適正な温湿度（20～22℃、55～60％）での保存や防犯・防災対策などが講じられており、適切に資料が保存管理されている。現在、展示については展示室改修のため休止中であるが、2016年夏から再開する予定であり、収蔵庫と同様の環境を維持する。
4	山口県文書館	YES	朝鮮信使御記録を所蔵する山口県文書館は専門職員（アーキビスト）が配置され、収蔵庫は適正な温湿度（約20℃、約58％）での保存や防犯・防災対策などが講じられており、適切に資料が保管されている。
5	福岡県立図書館	YES	福岡藩朝鮮通信使記録を所蔵する福岡県立図書館は専門職員（司書）が配置され、貴重書庫での保存や防犯・防災対策が講じられており、適切に資料が保存管理されている。ユネスコ記憶遺産登録後は、より文化財の保存管理や展示公開などの活用に適した九州歴史資料館への移管を予定している。
6	名古屋市蓬左文庫	YES	甲申韓人来聘記事などを所蔵する名古屋市蓬左文庫は学芸員が配置され、収蔵庫は適正な温湿度（19～21℃、55～65％）による保存や防犯・防災対策などが講じられており、適切に資料が保存管理されている。また展示室についても、適正な温湿度（24℃±4℃、50％±10％）で管理された環境で資料を展示公開している。

7	みやこ町歴史民俗資料館	YES	福岡県立育徳館高等学校錦陵同窓会所蔵の小倉藩朝鮮通信使対馬易地聘礼記録が保管されているみやこ町歴史民俗博物館は学芸員が配置され、特別収蔵庫は適正な温湿度（20～25℃、55～60％）での保存や防犯・防災対策が講じられており、適切に資料が保存管理されている。また展示室についても、収蔵庫と同様の対策が講じられている。
8	土肥純子	YES	土肥純子氏所蔵の朝鮮通信使迎在所絵図は、所蔵者の自宅において保存されており、保存管理に課題がある。そのため、ユネスコ記憶遺産登録後は、資料の保存管理に適した壱岐市立一支国博物館への寄託を予定している。
9	近江八幡市（旧伴伝兵衛家土蔵）	YES	近江八幡市が所蔵する江州蒲生郡八幡絵図は、旧伴伝兵衛家土蔵で保管されている。防犯対策を講じてはいるものの、保存環境や防災対策に課題がある。 <b>そのため、今後は公的な文化財保存公開施設へ移管し、適切に管理する予定。</b>
10	大阪歴史博物館	YES	正徳度朝鮮通信使行列図巻など、多くの朝鮮通信使関係記録を所蔵する大阪歴史博物館収蔵庫は学芸員が配置され、収蔵庫は適正な温湿度（18～25℃、55±5％）での保存や防犯・防災対策が講じられており、適切に資料が管理されている。また、展示室も収蔵庫と同様の対策が講じられている。
11	公益財団法人高麗美術館	YES	（公財）高麗美術館所蔵の朝鮮通信使関係記録が保管されている高麗美術館研究所は学芸員が配置され、特別収蔵庫は適正な温湿度（20～25℃、60～65％）での保存や防犯・防災などが講じられており、適切に保存管理されている。文化財の保存管理に適した施設であり、適切に保管されている。また、展示室についても収蔵庫と同様な対策が講じられている。
12	下関市立長府博物館	YES	延享五年朝鮮通信使登城行列図などの朝鮮通信使関係記録を所蔵するとともに、波田兼昭氏所蔵の波田崇山朝鮮通信使唱酬詩並筆語を保管している下関市立長府博物館は学芸員を配置し、収蔵庫は適正な湿度（55～60％）による保存や防犯・防災対策などを講じており、適切に資料を保存管理している。展示室の環境（温湿度管理）に課題があったが、現在、建設中の下関市立歴史博物館への移管準備のため公開展示を中止している。新博物館移管後は収蔵庫及び展示室ともに温湿度（22℃±2℃、湿度55％）・照度（150ルクス以下で調光）など、より最適な空気環境のもとで保存及び展示公開されるとともに、防犯・防災対策もより強固となる。なお、下関市立歴史博物館は2016年11月開館する予定である。

13	長崎県立対馬歴史民俗資料館	YES	朝鮮国信使絵巻を所蔵するとともに、松原一征氏所蔵の馬上才図巻を保管している長崎県立対馬歴史民俗資料館は学芸員が配置され、収蔵庫は適正な温湿度（25～30℃、55～65%）での保存や防犯・防災などが講じられており、適切に資料が保存管理されている。展示室についても、収蔵庫と同様な対策が講じられている。
14	(公財)蘭島文化財団(松濤園)	YES	呉市が所蔵し(公財)蘭島文化財団が管理する朝鮮人来朝覚備前御馳走船行烈図が保管されている松濤園は学芸員が配置され、収蔵庫は適正な温湿度（20～23℃、50～62%）での保存や防犯・防災対策などが講じられており、適切に資料が保存管理されている。展示室についても、収蔵庫と同様の対策が講じられている。
15	宗教法人超専寺	YES	朝鮮通信使船上関来航図は所蔵寺院において保存されており、保存管理に課題がある。そのため、ユネスコ記憶遺産登載後は、上関町に寄託して文化財の保存管理に適した上関町総合文化センター保管庫での保存管理を予定している。
16	滋賀県立琵琶湖文化館	YES	琵琶湖図を所蔵する滋賀県立琵琶湖文化館は学芸員が配置され、収蔵庫は適切な温湿度（20～25℃、65%±5%）による保存や防犯・防災対策などが講じられており、適切に資料が保存管理されている。当該館は現在休館中であり、資料の展示公開は行っていないが、2019年頃には建設が予定されている滋賀県立の新生美術館(仮称)に移管され、より適切な環境のなかで保存、展示公開される。
17	宗教法人泉涌寺	YES	朝鮮通信使歓待図屏風を所蔵する泉湧寺には宝物館が設置され、その収蔵庫は適正な温湿度（20℃±5℃、60～65%）での保存や防犯・防災対策などを講じており、適切に資料が保存管理されている。展示室についても同様な対策が講じられている。
18	高月観音の里歴史民俗資料館	YES	芳洲会所蔵の雨森芳洲関係資料が保管されている高月観音の里歴史民俗資料館は学芸員が配置され、特別収蔵庫は適正な温湿度（20～22℃、60～65%）での保存や防犯・防災対策などを講じており、適切に資料が保存管理されている。展示室についても、同様な対策が講じられている。
19	宗教法人赤間神宮	YES	朝鮮通信使副使任守幹 壇浦懐古詩を所蔵する赤間神宮には宝物殿が設置され、適正な湿度（55～60%）での保存や展示、防犯・防災対策などが講じられており、適切に資料が保存管理されている。

20	福山市鞆の浦歴史民俗資料館	YES	福禅寺所蔵の福禅寺対潮楼朝鮮通信使関係資料が保管されている福山市鞆の浦歴史民俗資料館は学芸員が配置され、特別収蔵庫は適正な温湿度（19～20℃、55～60％）での保存や防犯・防災対策などが講じられており、適切に資料が保存管理されている。
21	岡山県立博物館	YES	本蓮寺所蔵の本蓮寺朝鮮通信使詩書を保管する岡山県立博物館は学芸員が配置され、収蔵庫は、適正な温湿度（20～22℃、55～60％）での保存や防犯・防災対策が講じられている。に設定管理されている。展示室についても、収蔵庫と同様の対策が講じられている。
22	宗教法人本願寺八幡別院	YES	本願寺近江八幡別院所蔵の朝鮮通信使従事官李邦彦詩書は所蔵寺院の書院において保存されている。防犯・防災対策や保存環境に課題があることから、登録後はレプリカを作成して公開するとともに、原本は公的な文化財保存公開施設へ寄託する予定。
23	宗教法人清見寺	YES	清見寺朝鮮通信使詩書を所蔵する清見寺は宝物館を設置している。その収蔵庫や展示室は、防犯・防災対策が講じられており、適切に資料が保存管理されている。
24	宗教法人慈照院	YES	韓客詞章を所蔵する慈照院は、防犯・防災対策を講じた収蔵庫を設置して適切に資料を保存管理している。
25	宗教法人輪王寺 (日光山輪王山宝物殿)	YES	朝鮮国王孝宗親筆額字を所蔵する輪王寺は、宝物殿を設置し学芸員を配置している。その収蔵庫は、適正な温湿度での保存や防犯・防災対策などを講じており、適切に資料を保存管理している。展示室についても同様な対策を講じている。
26	宗教法人東照宮 (日光東照宮宝物館)	YES	東照社縁起を所蔵する日光東照宮は宝物館を設置し学芸員を配置している。その収蔵庫は、適切な温湿度（20℃、60～65％）での保存や防犯・防災対策などを講じており、適切に資料を保存管理している。展示室についても同様な対策を講じている。